

## 「基本設計及び用地に関する説明会」質疑応答の概要 (平成23年1月25日(火)練馬区立石神井小学校)

本資料は平成23年1月25日(火)練馬区立石神井小学校で開催された「基本設計及び用地に関する説明会」での質疑応答の概要を国土交通省東京外かく環状国道事務所が取りまとめたものです。

### 質問者

- ・ 家の近くで黙って試験堀を行っていたので聞くと「高速道路の関係ではない」と言っていた。外環の調査ではないのか。

### 回答者

(国)

- ・ 外環の地質調査の実施時には、外環のための調査であることを記載した看板を調査期間中設置し、調査会社の者に問い合わせがあった際には、お答え出来る範囲で説明するように指導していた。外環の調査であるか、後ほど確認させていただきたい。

### 質問者

- ・ 配布資料の「概念図」の凡例に記載されている「地表部のその他の施設」には何があるのか。

### 回答者

(国)

- ・ 「地上部のその他の施設」には、環境施設帯など緑地や機能補償道路等を設ける予定である。今後、環境施設帯の中で機能補償道路等について、東京都や練馬区と相談したいと考えている。

### 質問者

- ・ 事業費の目処は立っているのか。
- ・ 地下に外環をつくった時点で、地下水が別のところに回ることにより、土地の隆起や陥没、地下水の涸渇などの影響があるのではないか。
- ・ 換気所は何ヶ所設置するのか。換気所からの排気ガスにより大気汚染が心配である。
- ・ 地上部に外環ノ2の計画があり、地下と地上に両方道路をつくるのは税金の無駄遣いではないか。
- ・ 1mに1億円のお金を掛けて外環をつくる必要があるのか。

### 回答者

(国)

- ・ 外環は、すでに事業化しており事業費は1兆2,820億円である。事業主体は、現在検討中であるが事業を進めていく方針に変わりはない。

- ・ 地下部は、地上から掘削して大きい壁を地下水を遮断するように整備するのではなく、三次元に広がっている地下水の中をシールドトンネルで通過するため、地下水を遮断することにはならないと考えている。
- ・ 換気所は、全線で5ヶ所設置する計画である。環境影響評価において、環境基準が満たされるとの予測となっている。今後、事業を実施するなかで予測し得なかったことが起こらないか監視しながら進めたい。
- ・ 外環は、都心部に向かう交通の分散導入や通過交通の抑制など、首都圏の渋滞緩和などを目的としており、費用対効果があることから既に事業を実施している。

(東京都)

- ・ 昭和41年に、高速道路としての外環と、都市計画道路ネットワークの一部として外環ノ2という、道路の機能としては別々な2つの道路が重複して都市計画決定されている経緯がある。
- ・ 外環ノ2については、必要性やあり方等について広くご意見を伺いながら、東京都として都市計画に関する方針を定めていく。その一環として、練馬区内では、昨年6月から地元の方との話し合いの場を設けるとともに、それ以外の方からも色々な意見をお聴きしたいと考えている。

#### 質問者

- ・ 東京都は、外環ノ2の方針をいつまでに決めるつもりなのか。
- ・ 外環は、どの位の期間で整備する予定なのか。
- ・ 整備を進める順番などの具体的な計画はあるのか。

#### 回答者

(東京都)

- ・ 今の段階で、いつまでに外環ノ2に関する方針を定めるのか具体的なスケジュールは決まっていな  
いが、出来るだけ早い段階でまとめる必要があると考えている。

(国)

- ・ 平成32年を想定している。高速道路のあり方の見直しの検討などにより、左右されることもあるか  
と思うが、事業工程を少しでも工夫し一日も早く完成するよう頑張りたい。
- ・ 具体的には、いつどこから始めるかは決まっていない。

#### 質問者

- ・ なぜ、この地域で地域課題検討会を開催しなかったのか。
- ・ シールド工法は、三宝寺池や地下水への影響はほとんどないとしているが大丈夫なのか。
- ・ 国幹会議で費用対効果を良くするために事業費を下げたのではないか。
- ・ 費用対効果を算出する際に、遠くの小さい道路の便益を積んでいるのではないか。

**回答者**

(国)

- ・ この地域での意見は、大泉の常設会場や上石神井の地域区民会館でのオープンハウス、昨年度の説明会などでいただいている。今後も地域の皆様の意見をいただきながら進めたいと考えている。
- ・ シールド工法は、掘り進んだ直後にセグメントを設置するため、地下水をトンネル内に引き込まない特徴があり、分析した結果、三宝寺池等に対する影響はないと考えている。なお、施工の前中後のモニタリングは、適切に実施していきたい。
- ・ シールド工法等の最新技術の採用などにより、現在の事業費は1兆2,820億円になっている。
- ・ 外環の便益を算出するにあたり、東京23区内の道路を「主な周辺道路」と設定している。それ以外の便益を算出するにあたっては、関東近郊の1都3県の便益を積み上げている。昨年4月に高速道路の再検証を実施し、外環は費用対効果が2.9と検証がされている。

**質問者**

- ・ 練馬区内では、どのあたりに換気所を予定しているのか。
- ・ 練馬区は、補助第135号、補助第232号の整備について、いつ地域住民に対して説明会を開催する予定なのか。

**回答者**

(国)

- ・ 練馬区内では、大泉ジャンクションと青梅街道インターチェンジの2ヶ所に換気所の設置を計画している。

(練馬区)

- ・ 今まで「みちづくり・まちづくり通信」を発行して検討結果はお伝えしているが、今後どの様に学校問題を解決していくかについては、皆さんにどういう方向性が示せるのか決まった段階で周知する機会等も設けさせていただきたいと考えている。

以 上